



ひとりひとりのやさしさ

ジャクリーン・ウッドソン/文 E. B. ルイス/絵

えほんひ

さくまゆみこ/訳 BL出版



ある日、校長先生が、てん校生のマヤを、わたしのクラスにつれてきた。みずぼらしい服とくつ。おべんとうも、へんだ。わたしは、みんなといっしょに、マヤをむした。わらいかけられても、むした。でも……。

やまの動物病院

なかがわちひろ/作・絵

徳間書店

よみもの913ナ



「まちの動物病院」は、町はずれの山のふもとにあります。昼間は、おきやくさんが少なくて、先生もついで、いねむり。ところが夜になると、先生のかいねこの、とらまるが「やまの動物病院」をひらくのです。

おかあさんはえらい！

東君平/作・絵

金の星社

よみもの913ヒ



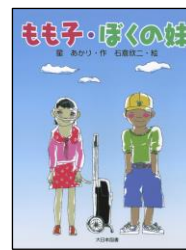
25人の子どもの、25人のおかあさんが出てきます。ケチケチさくせん中のおかあさん、ダイエット中のおかあさん。がんばりやさんや、あわてんぼう……。かぞくって、いろいろだから、おかあさんも、いろいろなんだ。

もも子・ぼくの妹

星あかり/作 石倉欣二/絵

大日本図書

よみもの913ホ



ぼくの妹のもも子は、からだに障がいがあり、はなからチューブをいれている。つらいだろうに、明るくてよくわらう。「かえるの歌」も元気に歌う。ほんとうに、かわいい妹なんだ。でもある日、ぼくは学校で……。

世界でいちばんやかましい音

ベンジャミン・エルキン/作 松岡享子/訳

よみもの933エル

おただいばち 太田大八/絵 こぐま社



みんながどなったり、わめいたりする「ガヤガヤ」という都があった。その王子が、自分のたんじょう日に、世界でいちばんやかましい音を聞きたい、と言った。さあ、世界じゅうの人たちは、なにをしたでしょう？

がんばれヘンリーくん

ベバリー・クリアリー/作 松岡享子/訳

よみもの933クリ

ルイス・ダーリング/絵 Gakken



小学三年生のヘンリーくんは、プールの帰りに、がりがりにやせた犬を見つけます。こっそりバスにのせて家につれて帰ろうとしますが……。ヘンリーくんのまわりでは、つぎつぎにじけんがおこって、目がはなせません。

ヒロシマ消えたかぞく

さしだかず 指田和/著 鈴木六郎/写真

ちしきえほん TEブルー 48

ポプラ社



大きな戦争がおわる直前の1945年8月6日、アメリカは日本の広島に原子爆弾をおとしました。この爆弾で、たくさんの人がなくなりました。これは、その時まで生きていた家ぞく6人のお話です。

虫のからだ1 はね

しんかいたかし 新開孝/写真・文

いわさきしよてん 岩崎書店

自然科学 486シ



虫の羽は、とぶ以外にもさまざまな使い方ががあります。羽を広げておどしたり、オスとメスを見分けることもできます。いろんな虫の羽を、きれいな写真とわかりやすい説明で見てください！

